

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【公開番号】特開 2002-349289 (P2002-349289A)

【公開日】平成 14 年 12 月 4 日 (2002.12.4)

【出願番号】特願 2001-151651 (P2001-151651)

【国際特許分類第 7 版】

F 0 2 C 7/20

C 0 8 J 5/16

F 0 1 D 25/28

// C 0 8 L 101:00

【F I】

F 0 2 C 7/20 A

C 0 8 J 5/16 C E W

C 0 8 J 5/16 C E Z

F 0 1 D 25/28 C

C 0 8 L 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 1 日 (2004.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

図 8 はソールプレート本体 1 a のすべり面が形成される面側に、金属等からなるワイヤ 5 で多孔質層を形成した場合の一例を示したものである。ワイヤ 5 はソールプレート本体 1 a に接合されるとともに、ワイヤ 5 どうしも接合されている。ワイヤ 5 どうしの間には空間が形成されるため、この部分にすべり面を形成する樹脂材料等を注入することにより、くさび効果によりすべり面を確実に固定することができ、ソールプレート本体とすべり面とのずれや剥離等を防ぐことができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

また、図 9 はソールプレート本体 1 a のすべり面を形成する面に金属等からなる球状部材 6 を複数配置し、多孔質層を形成した場合の一例を示したものである。球状部材 6 はソールプレート本体 1 a に固定するとともに、各球状部材 6 どうしも固定する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

これらの球状部材 6 は規則的に並べられたものであっても、ランダムに配置されたものでもよく、また 1 層のみでもよいし、複数層にしても用いてもよい。このようにすること

で球状部材と球状部材との間に空間を形成することが可能となり、前記したようなワイヤからなる多孔質層と同様にくさび効果によりソールプレート本体とすべり面とのずれや剥離等を防ぐことができる。